



松田ならではのメガネ修理

メガネの松田では、愛着のあるメガネを長く使っていただきたいと考えているので、メガネ店ではあまりやらない「修理」にも力を入れています。店内で行うので、業者に修理を依頼するよりも時間がかかりません。

ロー付け修理

お子様などがメガネを使っている時に、クリングス（鼻部分の金属パーツ）が折れてしまうことがあります。当社では、熱を加えて新しいパーツをロー付けし、接着いたします。多少焦げ跡が残りますが、すぐに使えるようになります。業者に修理を依頼すると7日以上かかりますが、当店では半日ほどでお渡しできます。



鼻盛り

メガネが鼻筋に合わず、すぐに下がってしまう時におすすめなのが、鼻盛り加工です。フレームを削り、新たな鼻パッドを接着して鼻あて部分を大きく高くすることで、メガネが動かないようにします。もちろん、見た目もきれいに仕上げます。当社では、フレームや必要な高さによって様々なバリエーションをご用意しています（一部、できない素材もありますのでご了承ください）。業者に依頼すると7日以上かかりますが、当店では2日～ほどでお渡しできます。

そのほか、万が一壊れてしまった時は、接着剤などを使わずにそのままお持ちください。レンズが壊れていない場合は、対応できるケースもあります。

大通本店 /
100本の品揃え！美しさと技術に
こだわった日本のアイウェア
**ラインアート
フェア**
12/27まで

高松店 /
眼の健康年齢チェック！
日本にまだ数台しかない機械による
**無料ルテイン
測定会**
12/7～21まで

各店
企画

青山店 /
女性・男性共に人気のブランド
普段の倍の品揃え！
**ポールスミス
フェア**
12/30まで

フロントワン /
ブランドと言えばこれ！
**『GUCCI』
フェア期間中特別割引**
12/30まで

SF作品は特に受験生の頃に
よく読みました。



店主 米山さん

おすすめの1冊



『2001年宇宙の旅』などで知られる
アーサー・C・クラークの著書
『幼年期の終り』

手に取りやすい
文庫や新書が並ぶ

珈琲 酒 米山



読書は
就寝前が多い
という

松田社長

早速今晚読んでみます。

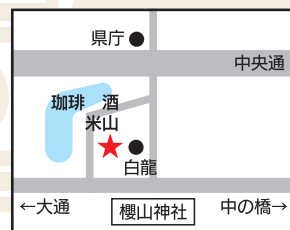
子どもの頃から本に親しんできたという松田社長。中学生の頃は主に赤川次郎やライトノベルを読んでいましたが、高校生の頃に読書感想文の題材で夏目漱石の『こころ』を読んだことがきっかけで、さまざまなジャンルの本を読むようになったそうです。現在では経営者としてマネジメントに関する本などビジネス書を多く読みますが、「純粋に楽しんで読むのは、やはり推理小説やサイエンスミステリー」とのこと。そんな松田社長は今

ふだんからジャンルにこだわらず読んでいるという米山さんが松田社長のために選んだのが、アーサー・C・クラークのSF小説『幼年期の終り』。「彼の小説は『2010』以外は読んだことがないですね」と松田社長は興味津々の様子。米山さんは、「次の展開を予感させる内容なので、希望や元気をもたらしてくれると思い

回、「元気になれるような本」を求めて桜山商店街の『珈琲 酒 米山』へ。店主の米山徹さんは、東京の有名自家焙煎コーヒー店や市内の老舗自家焙煎コーヒー店『クラムボン』で修業をし、8年前に独立。名前のとおりコーヒーなどのソフトドリンクや各種お酒が楽しめる店で、店内一角で文庫や新書を中心とした古書を販売しています。

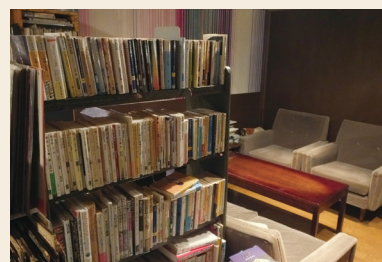


他のSF作家の作品にも話が及ぶ二人。ちなみに「元気になれる本」として松田社長がおすすめするのが、マッド・デモンで映画化されたSF小説『火星のひと』とか



珈琲 酒 米山

盛岡市内丸5-8-2F
電話／090-6251-1357
営業時間／18時～22時
定休日／不定



本棚には主に、気軽に手に取りやすい文庫や新書が並んでいます

自己犠牲がテーマの童話で、
読後に静かな
感動を覚えると思います。



店主 東野さん

おすすめの1冊



ほるぷ出版による
『グスコブドリの傳記』
復刻版

民俗学関連の品揃えに
定評がある老舗

東光書店



フロントワンスタッフ 徳山さん

名前は知っていましたが
読んだことはないの
で、楽しみです。

小学校・中学校・高校のすべてで図書委員を務めるなど、「筋金入りの本好き」というフロントワンの徳山百合子さん。新刊に限らず古書もチェックするそう、今回訪ねた上ノ橋町の『東光書店』も、「以前にも来たことがあります」と懐かしそう。同店は昭和11年創業の老舗で、店主・東野知子さんは8年前に3代目だったご主人を亡くして以来、一人で切り盛りしています。取り扱っている本の多くは民俗学関連のもので、文学は3割ほど。今

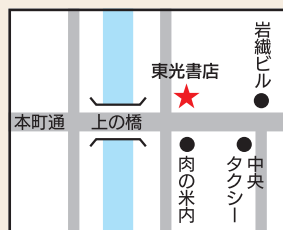
回はその中から徳山さんの「ハートウォーミングな本」というリクエストに応え、宮沢賢治の童話『グスコブドリの傳記』を選んでくれました。「これは昭和16年に出版された本の復刻版。有名な童話なのでお読みになったことがあるかとも思いましたが、装幀が美しいので選びました」と東野さんが差し出すと、「素敵！ 実は私も装幀で本を選ぶことがあるんですよ」と徳山さん。徳山さんが勤めるフロントワンはスタイリッシュなデザインのメガネが揃っており、「本選びと同様、メガネ選びでもデザインは大切な要素の一つですので、気になる方はぜひ一度足を運んでいただきたいです」と話します。



ともに本好きとあって、
会話が止まらない徳山さんと東野さん

るよう心がけているとのこと。本好きのお客さまとは特に会話が弾むそうで、同店でも東野さんと本にまつわる話でしばしば盛り上がりました。

狭い通路の左右には、おびただしい数の本がぎっしり



東光書店

盛岡市上ノ橋町1-56
電話／019-651-7300
営業時間／10時～17時
定休日／火曜

